

くずまき 議会だより



新しい議会運営

通年の会期制スタート！

2p

今ここが聞きたい ～3議員が一般質問～

4p

友好市町に学ぶ ～常任委員会研修～

8p

笑顔のつどい



表紙

小屋瀬スポーツ少年団
(関連10P)

100円バス利用率好調で増額

会計名	補正額	補正後の予算額
一般会計	6,338万円	58億2,105万円
特別会計		
国民健康保険事業	1,040万円	11億3,020万円
農業集落排水事業	1,311万円	2億 77万円
後期高齢者医療事業	375万円	7,101万円
病院事業 (収益的収支)	△765万円	8億5,089万円

《主な支出の内容》

- 台風18号による災害復旧事業費…………… 790万円
- 商店等の設備更新支援事業補助金…………… 360万円
- 若者の雇用促進の奨励金事業…………… 290万円
- 町道茶屋場田子線整備調査等業務…………… 153万円
- 100円バス利用事業への支援…………… 80万円

第14回臨時会と第15回定例会で、25年度補正予算、条例の一部改正などの審議が行われ、原案とおり『決定』しました。

補正予算
 一般会計に6338万円追加し、総額を58億2105万円としました。各会計の補正額と主な支出の内容は左の表のとおりです。
 また、主な質疑の内容は下記のとおりです。

町民に身近な議会を



新1年生を歓迎する江刈小学校児童ら

12月定例会

12月定例会は、12月6日から11日までの6日間の会期で開催されました。
 町長から提出された議案は、25年度一般会計と特別会計の補正予算など12件、議会の会議に参考人を招致する議員発議案1件が提出され、すべて全議員の賛成で原案とおり『決定』しました。
 また、9日に行われた一般質問では3名の議員が登壇し、町の対応や考えをただしました。

通年の会期制スタート!!

1月20日から、「葛巻町議会総合条例」による議会運営が始まりました。
 この条例により、議会はこれまでの定例会・臨時会方式から、一年間を会期とする「通年の会期制」になりました。議会を開く日はあらかじめ決まっていますが、必要なときは、いつでも会議を再開することができま
 す。新しい制度で議会が開会し、年間を通じての会期となるため、議会の役割がますます重要になります。

(注) 参考人制度

地方公共団体の事務に関する調査などの必要があるときに、利害関係者や学識経験者の出席を求めて意見を聴いて参考にし、議会の審議の充実を図るための制度をいいます。

県内で最小の議会ですが、充実した審議を通じて町の活性化を図るため、議員一同なお一層努力します。
 また、本会議で公聴会や参考人制度(注)を導入できることになりましたので、より身近な議会を目指し、町民の皆さんの声を聴く機会の方として、この制度を活用して行きます。

茶屋場田子線建設進捗状況は

問 今年度の事業は計画どおりに進んでいますか。
答 今年度は元町橋から大橋までの第1工区間の工事で、物件移転補償は完了しました。
 用地取得は、約8割が契約済みです。残り2割の交渉が難航しています。3月末までに完了できるように進めます。

国保会計決算見込みは

問 現時点での、25年度決算の見込みは。
答 加入者の高齢化や低所得者の増加など、構造的な問題があり、厳しい状況です。
 冬期間に流行が心配されるインフルエンザなどで、受診増加による医療費を抑制するため、予防接種の受診の普及に努めます。

条例改正

● **町税条例の改正**
 年金所得者の町民税の徴収額の平準化を図ります。

財産取得

● **FM音声告知端末**
 屋外放送の内容を屋内で聞くための機器を、1200台購入。
 ◇ 契約額 2280万円
 ◇ 納期 26年2月15日
 ◇ 契約相手
 岩手ケーブルテレビジョン株式会社

人事案件

● **教育委員会の委員の任命(再任)**
 中田直雅さん(下町)を任命することに同意しました。
 任期は、29年12月24日まで。

その他

● **人権擁護委員の候補者の推薦(再任)**
 長岡功さん(田子)を候補者として推薦することに同意しました。
 任期は、29年3月31日まで。

● **岩手県市町村事務組合規約の一部変更の協議**
 滝沢村が、1月1日から市に移行することにより、「滝沢・雫石環境組合」に名称を変更。

● **あっせんの申立て**
 福島県で発生した東京電力(株)原子力発電所の事故により、町が要した費用の損害賠償請求に相手方が応じないため、原子力損害賠償紛争解決センターへあっせんを申し立てすることを議決。請求額は733万円。



やまぎし み
山岸はる美 議員

12月9日に、3議員が一般質問を行いました。一般質問は、町の行政全般にわたり、事務の執行状況や将来の方針などを幅広い視点から報告や説明を求め質問します。議員の質問できる時間は、1時間以内です。

問 今後の学校配置のあり方は

答 地域の声を聞き、当面は現状維持

議員 学校が小規模・複式化していますが、学校規模の適正化に取り組んできた経緯と今後の学校配置のあり方、方向性は。
町長 小中学校数、学級数、児童生徒数の推移は、左の表のとおりです。

小中学校数等の推移

区分	平成5年	平成25年	比較
小学校	学校数	13	5 △ 8
	学級数	62	21 △ 41
	児童数	802	219 △ 583
中学校	学校数	7	3 △ 4
	学級数	27	11 △ 16
	生徒数	445	147 △ 298

これまでの取り組みとして、平成5年に「学校統合による適正規模の環境とするための基準」を定め、12年に「町立学校の適正配置に係る指針」を決定し、適正な教育環境の整備を図るため、統廃合にも取り組んできました。



江刈小学校3・4年生の複式学級での授業の様子

小中学校のあり方では、先般の江刈小学校の改築要望のように、統廃合よりも現状施設の改修を含めた環境改善が、地域からの声として大きいものと理解しています。また、集落が点在する本町で統廃合を進めた場合、さらに遠距離通学を児童生徒に強いることになりません。経済的効率性による判断だけではなく、地域が望む統合でなければならぬため、当面現状での運営を考えています。

問 町臨時職員の待遇状況は

答 福利厚生面で勤務条件を配慮

議員 町の臨時職員の公募の実態と、賃金における待遇状況は。
町長 現在運用している公募登録制は、平成19年度から導入し、期限付臨時職員と非常勤専門職員で実施しています。25年度の期限付臨時職員の公募の実態は、下の表のとおりです。

期限付臨時職員の公募実態 (25年度)

職種	募集人数	応募人数	採用人数
事務補助	10	17	9
保健福祉	11	8	8
医療	9	9	9
労務関係	12	12	11
合計	42	46	37

非常勤専門職員では、17人の募集に対して20人の応募で、採用は17人です。また、25年4月時点で、92%の採用率です。臨時職員の賃金等の待遇は、日日雇用職員を除く全臨時職員を社会保険、厚生年金、雇用保険に加入させているほか、有給休暇、片道2キロメートル以上の通勤者には加給金を支給するなど、より良い勤務条件に配慮しています。

問 超高齢化社会 その対策は

答 共同住宅などの整備を検討



たつやなぎ けいいち
辰柳 敬一 議員

議員 安心して暮らせる町づくりについて伺います。高齢者世帯などの要援護者の状況は。
町長 25年12月1日現在の住民基本台帳人口の65歳以上の高齢者数は2742人で、高齢化率は39%です。このうち、一人暮らし高齢者は409人、高齢者のみで暮らす高齢者は750人です。障害者手帳を持っている65歳未満の方は176人、要介護1以上の認定を受けている高齢者は464人で、今後、障害の重度化や介護者の高齢化などにより、住まいの場の確保や居住支援が必要と思われると思います。
議員 高齢者や障害者が地域で暮らし続けるための、住まいの場の施設整備の考えは。
町長 介護を必要とする高齢者の施設は、定員

55人の特別養護老人ホーム「高砂荘」などがあります。27年4月に、定員9人の認知症対応型グループホームのオープンが予定されています。障害者への居宅サービスとして、共同生活介護の「ケアホーム」などがありますが、本町にはありません。高齢者や障害者の方からは「住み慣れた自宅や地域で暮らしたい」という声もあり、在宅による介護予防サービスなどを受けている方もいます。高齢者や障害者の方が住み慣れた地域で、安心して暮らし続けることができる住宅の整備や町の施設を活用した共同住宅など、様々な角度から検討します。
議員 情報通信基盤施設を活用した見守りなどの生活支援システムの見直しは。
町長 町民ニーズや導



「ふれあいサロン・やすみっこ」の様子 (浦子内町内会)

入効果、先進事例などを参考にし、利用者が満足するようなサービスの導入を進めます。
議員 高齢者の憩いの場となる施設整備の考えは。
町長 役場裏に浴室を備えた老人福祉センターがあり、1日当たり20数名の利用があります。また、高齢者が移動する面での利便性などを考え、町社会福祉協議会が行っている「ふれあいサ

ロン・やすみっこ」など地区センターを拠点にした行事が多く行われていることなどから、現時点では憩いの場のみの機能を持った施設の整備は考えていません。高齢者が住み慣れた地域で、安心して暮らし続けることができるよう、年金の範囲内で入所・生活が可能な低料金の施設を、高齢者などの意見を聞き実情にあった形で整備を検討します。



柴田 勇雄 議員

問 「基本計画」ないままの事業に疑問

答 遠くない時期に策定で検討中

議員 町の主要事業は、総合計画の中に盛り込み緊急性や優先順位により、事業を実施してきた経緯にあります。基本計画の後期計画は、20年度から24年度までの計画で、「期限切れ」のまま、主要事業が行われていますが、向こう3年間の主要事業の内容は、この計画に連動する一般会計の財政運営の見通しは、

町長 町民の抱える不安を一つでも多く取り除き、他よりも一歩先を行き、町民が安心・安全に暮らし、この町に住みたい、住み続けたいと思う「山村のモデル」となる町づくりを目指しています。地域間競争の激化、少子高齢化、人口減少などの課題を抱えながらも、町民ニーズを的確にとらえ必要性や優先度に応じた事業展開を図ります。基本計画は、24年度で終了したので、これらのことを踏まえ、そう遠くない時期に策定します。向こう3年間の主要事業は、葛巻病院の改築、江刈簡易水道の整備、茶屋場田子線の道路改良、牧草地の除染対策、総合運動公園多目的グラウンドの改修などです。財政運営の見通しは、葛巻病院改築、消防救急無線のデジタル化改修など大規模な事業が集中するため投資的経費が高くなる見込みです。公債費は、今後も減少が見込まれます。地方交付税は、国の財政健全化対策から7%程度の減額も想定されます。各年度とも基金から2億5千万円程度の繰り入れが必要と思われるため、限られた財源の重点的で効果的な活用を図り財政の健全化に努めます。

問 クラブ活動 今後の対応策は

一定数の部員で競技力向上を目指すクラブがある一方、編成人数不足で単独校での大会出場ができない事例があります。このような実情から新一年生の入部者が減ってしまふことや希望するクラブに入れない課題もあり、各学校では保護者のクラブ振興協議会などでクラブ活動のあり方を協議しています。

答 関係者の協議で 良好な状況を構築

議員 生徒数が減少する中、中学校の運動部と文化部のクラブ活動の実態や中高の連携策、今後の対応策は。
町長 平成14年の学習指導要領の改定で、必修クラブ活動は廃止され、学校の実情で課外活動の二環として行われています。葛巻高校との中高連携では、中学校のクラブ活動の状況や保護者の意向も踏まえたクラブ配置をしています。編成人数に足りないクラブは、町内外の同様の問題を抱える学校との合同チームによる大会出場の対応をとっています。この状況が続きますが、学校と保護者の協議、スポーツ少年団指導者の助言のもと、よりよいクラブ活動の構築に努めます。



町外中学校とペアを組み大会に出場（江刈中学校女子ソフトテニス部）

議会研修レポート



議会では、地域の振興発展や特定の課題を解決するため、近隣市町村議会と連携して、先進事例の研修などに取り組んでいます。その研修結果をお知らせします。

三町議会議員研修会

本町森林組合の取り組みを学ぶ

25年10月15日、岩手町・一戸町・葛巻町議会議員協議会研修会が、グリーンテージを主会場に開催され、三町の議員など約50人が参加し、葛巻町森林組合の取り組みを研修しました。本年度は、本町が開催地で、葛巻町森林組合の竹川高行参事を講師に、葛巻町森林組合の活動の講演と、町内の関連施設を視察しました。



竹川参事から「企業の森」の説明を聞く三町議員ら

関連施設の「薪の学校」では、廃校となった田野小学校の一部を改修し、良質な薪を製品化して、東京都などの都市部へ販売する拠点となっています。また、学校に訪れた方々に、薪ストーブの温かさや良さを体感してもらい、普及につなげています。

講演会では、竹川参事が「葛巻町森林組合の挑戦」と題して講演を行いました。森林資源の循環利用を基本に、森林を通じた環境づくりや企業と連携したくずまき型の「企業の森」の取り組みなど、良質な木材を生産する熱い思いを話され、森林の大切さを再確認しました。

平庭トンネル早期着工 完成促進住民大会研修会

住民の願い実現に向け、新たな方策を検討

25年11月19日、森のこども館で、本町・久慈市議会、県の関係機関、担当者など約35人が参加し、国道281号平庭トンネル早期着工完成促進住民大会実行委員会の研修会を開催しました。今回の研修会は、平成14年度から住民大会を開催して平庭トンネル構想の早期実現を訴え続けてきました。が、未だ着工に至っていない状況のため、今後の方向性を検討するため開催しました。

今後は、両市町、両議会、県の関係機関でより良い知恵を出し合い、前向きな方向性を検討するため、さらに一歩進んだ勉強会を開催することを確認しました。

研修会では、県の担当者から、これまでの経緯と現状の取り組みの説明を受け、県、両市町を交えて意見交換を行いました。意見交換会では「10年間早期着工を訴えてきたが実現していないことは、住民の一人とし



県担当者の説明を受ける両市町議員ら

友好市町の「絆」と「連携」を確認！



大野市・糸魚川市に学ぶ

「輝くふるさと常任委員会」研修



輝くふるさと常任委員会は25年10月28日～31日、鈴木町長も同行し、友好市町の福井県大野市と新潟県糸魚川市を訪問しました。視察では、両市が進めている産業や観光振興などの取り組みを研修しました。昭和58年の「友好市町の契り」から30年目に当たる節目の年で、さらなる友好の「絆」を確認しました。

知度の向上を目指して、市の魅力を情報発信する取り組みを行っています。「人、歴史、文化、自然環境、食」など、魅力ある素材のすべてを越前おおののブランドとして磨き上げて、元気な大野市を実現しようとするものです。また、「結いの故郷越前おおの」をキャッチコピーに、市の施設の名称には「結」の活字を使用して、そのほか、

**「越前おおの」の知名度を向上
ブランド戦略で情報発信**

大野市
大野市は、福井県の東端に位置し、面積は福井県内で最大の広さです。豊富で清らかな地下水に恵まれ、市街地は城下町の面影を強く残し「北陸の小京都」と呼ばれています。

大野市近郊では、中部縦貫自動車道や北陸新幹線などのインフラの整備が進んでいます。大野市では、この機会を活用して地域振興を図ろうと考えて、25年2月に「越前おおのブランド戦略」を策定し、市のイメージや認



名水百選に選定された湧水の説明を聞く議員ら

**北陸新幹線の開業を見据え
ジオパーク事業を加速化**

糸魚川市
糸魚川市は、新潟県の最西端に位置し、日本の東西の境界線上に位置しています。ヒスイなどの鉱物資源が豊富で、巨大断層（糸魚川静岡構造線）は日本列島誕生の謎を秘めた世界的な学術資源となっています。

糸魚川市は、特徴ある地形や鉱物資源が豊富で、日本で初めて世界ジオパークの認定を受けています。ジオパークとは、「大地の公園」という意味で、貴重な地質や地域の自然や文化を守り、多くの人に知ってもらい、訪れてもらうことを目的としています。

この研修で、両市が進めている取り組みから、地域資源を磨いて情報発信し地域振興に結びつけることの大切さや、その取り組みに努力していく必要性をあらためて感じました。本町でも、さらなる情報発信や、新たな取り組みに目を向けていくことが必要と考えます。



ヒスイなどの鉱物資源を展示するジオパーク施設の説明を受ける議員ら

定期観光バスでジオサイト（地域のみどころ）を巡るツアーやジオパークを説明するガイドの育成、0歳から18歳までの一貫教育の中でジオパーク学習を取り入れるなどの事業を行っています。

**両市と交流深め
強まる友好関係**
今回の研修で、両市の多くの議員や職員の方から心温まる歓迎を受けました。友好市町の交流を深めることができ、物産交流などで連携して行くことを確認しました。



糸魚川市議会との交流会での集合写真

インタビュー

移住された方に聞きました。

みなみだて 南館 晋さん(37歳) のりえ 則江さん(33歳)
 ~ 一関市から小屋瀬地区に移住 ~



前列左から: 岳くん(2歳) 若ちゃん(4歳) 杏ちゃん(6歳)

移住者が住みやすい住環境を

Q: いつから住んでいますか
 24年12月に家が完成し、昨年の3月下旬から住み始めました。昨年の12月に4人目の子どもが生まれ、6人家族になりました。

Q: 移住のきっかけは
 葛巻町の前は一関市に住んでいましたが、原発事故の影響によって屋外で遊べない時期を体験しました。子どもたちを自然の中で伸び伸びと育てたい思いから移住を決めました。

Q: なぜ葛巻町に決めましたか
 町が進める環境への取り組みに未来を感じました。町からの紹介もありましたが、四季折々の景観が素晴らしい場

Q: 今後取り組みたいことは
 畑を起こして自然農をやることや、庭に東屋(あずまや)を造ることを考えています。

Q: みなさんへメッセージを
 葛巻町は良い場所ですね。移住を希望する知り合いに、葛巻町の良いところをPRしていただきます。移住者が住みやすい住環境が、さらに充実すれば良いと思います。

分からないこともたくさんありますが、少しずつなじんでいきたいと思っています。よろしくお願ひします。

所だったため、小屋瀬地区に決めました。

Q: 移住への不安は
 多少の不安がありました。家を建てる際に地域の方から相談に乗ってもらい、心が温かい方が多いと感じました。

Q: 葛巻町の印象は
 町の自然が丸ごと財産です。それをうまく活用しているところがすごいですね。子育てしやすい場所、本当に安心だと感じます。

表紙 (小屋瀬スポーツ少年団)



第23回子どもスポーツ交流大会が、25年12月15日に葛巻町社会体育館で開催されました。2016岩手国体で、本町で開催が予定されているデモンストレーション競技の「ネオホッケー」による交流大会でした。

この大会に10チームが参加し、熱戦が繰り広げられる中、「小屋瀬ビクトリー」チームがみごと優勝しました。

【表紙: 交流大会に向けた練習前の小屋瀬スポーツ少年団】

情報公開

議長が議会の対外的活動をするための経費が議長交際費です。各団体の総会、式典の会費が主なものです。

10月	8,000円	(郡医師会との情報交換会ほか)
11月	30,000円	(町勢功労者表彰式ほか)
12月	42,000円	(消防防火懇談会ほか)

広報常任委員長

山 岸 はる美

編集後記

私たち議員も4年任期の折り返し地点となりました。また、1月20日から「葛巻町議会総合条例」がスタートしました。

私たちを取り巻く社会や環境は目まぐるしく変わっています。本年も議会だより、くずまきテレビを通して、町民の皆さんに分かりやすい情報を提供していきたいと思ひます。

